

令和3年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(国土交通省3-④)

施策目標		44 環境等に配慮した便利で安全な官庁施設の整備・保全を推進する						担当部局名	官庁営繕部			作成責任者名	計画課長 佐藤 由美		
施策目標の概要及び達成すべき目標		行政等のサービス提供の場として、国民の生活や経済社会活動を支えている官庁施設について、環境等に配慮した便利で安全なものとなるよう、効率的に整備・保全を推進する。						施策目標の評価結果	②	政策体系上の位置付け	13 官庁施設の利便性、安全性等の向上		政策評価実施予定時期	令和3年8月	
業績指標	初期値	実績値						評価結果	目標値	目標年度	業績指標の選定理由、目標値(水準・目標年度)の設定の根拠等				
		目標値設定年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度								
142 官庁施設の耐震基準を満足する割合	89%	平成26年度	91%	92%	93%	94%	95%	A	95%	令和2年度	「建築物の耐震改修の促進に関する法律」に基づく「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的な方針」において、多数の者が利用する建築物の耐震化率について、令和2年度までに少なくとも95%にすることを目標とすることが定められていることを勘案し、官庁施設として必要な性能を確保するための対策が講じられている施設の割合について、95%を令和2年度の目標値とした。				
143 保全状態の良好な官庁施設の割合等(①保全状態の良好な官庁施設の割合)	87%	平成29年度	75%	87%	92%	93%	96%	A	90%	令和2年度	評点の平均点が80点以上の施設は、良好に保全されている施設であり、質の高い保全指導が必要とされる。保全指導の強化と着実な進展を図るため、90%を令和2年度の目標値とした。				
143 保全状態の良好な官庁施設の割合等(②官庁営繕関係基準類等の策定事項数)	54事項	平成28年度	54事項	57事項	65事項	66項目	73項目	A	65項目	令和2年度	「国家機関の建築物を良質なストックとして整備・活用するための官庁営繕行政のあり方について」(平成18年7月20日 社会資本整備審議会建築分科会)の建議において当面実施すべき施策とされた項目、社会経済情勢の変化等について、基準等の策定や既存基準等の改定に際し事項の追加等を行い、下記の項目についての基準等の策定事項数65事項を令和2年度の目標値とした。				
達成手段(開始年度)	R3年度行政事業レビュー事業番号	予算額計(執行額)			R3年度当初予算額(百万円)	達成手段の概要					関連する業績指標番号	達成手段の目標(R3年度)(上段:アウトプット、下段:アウトカム)			
(1) 官庁営繕費(昭和26年度)	2021-国交-20-0562-00	H30年度(百万円)	R1年度(百万円)	R2年度(百万円)		行政事業レビューシート参照					141	-			
(2) 官庁施設の適正な保全等の推進に必要な経費(平成18年度)	2021-国交-20-0563-00					行政事業レビューシート参照					142	-			
施策の予算額・執行額		25,950 (17,569)	31,249 (20,943)	29,895	17,727	施策に係る内閣の重要政策(施策方針演説等のうち主なもの)					なし				
備考															